



安全だより

第44号
令和4年8月発行
公益社団法人
東大和市シルバー人材センター
安全管理委員会

安全管理委員会より

ここ数年、新型コロナウイルスの感染拡大防止措置として私たちの生活が大幅に規制されてきました。今年5月に入り各種規制が解除され、社会の動きがすこしずつ戻りかけているように見えてきましたが、7月に入り新規感染者が急激に増加し、第7波に入ったといわれております。

このような状況下ではありますが、当シルバー人材センターも新型コロナウイルス感染防止対策を十分に取しながら、各種行事や事業を実施できるよう検討を行っております。

今後のコロナ感染拡大の状況は不明ですが、各種行事の実行が決まりましたらその都度会員の皆さまへお知らせいたします。

今年の夏は梅雨明けと同時に猛暑が続いております。会員の皆さまも熱中症対策を充分に取り、お仕事に就かれることを心がけてください。

なお、今年6月から、施設管理を担当されている鈴木義雄会員が、安全管理委員会委員として会長より委嘱されました。会員の皆さまと一緒に安全就業に取り組んでいきたいと思っております。会員の皆さまのご協力をお願いいたします。

作業中の会員の皆さん



除草作業



植木剪定作業



屋外清掃作業



蜂の巣駆除作業

※暑い中ですが、熱中症に十分注意しながら作業をしてください。

令和4年度 熱中症予防講習会報告

公益財団法人東京しごと財団の安全就業パトロール指導員 板東 寛 講師をお招きし、令和4年7月4日（月）14:00～ 熱中症予防講習会を開催いたしました。

新型コロナ感染も少しずつ落ち着いてきたことから、3年振りの開講となり、参加者については、日頃から炎天下での作業でご苦労いただいている、除草班、植木班、駐輪指導班の会員15名に絞り込んでの講習会としました。

今回、初めての東京しごと財団への講師依頼でしたが、講習会の内容も刷新されました。

特に高齢者の熱中症死亡者が増加傾向にあることから、私たちシルバー世代の熱中症予防を中心とした内容が多く、大変興味深く有意義な講習会となりました。

出席いただいた会員の皆さんには、本講習会で得た知識を当日使用した資料とともに、仕事仲間、友人、家庭など幅広く活用していただきたいと思います。

普段の生活の中での熱中症予防策は、適度な運動、バランスの良い食事、睡眠環境改善で睡眠確保など、暑さに負けない体作りの実践と、暑さに慣れる「暑熱順化」がキーワードです。シニア世代は体内の水分の蓄えが少ない、喉の渇きや暑さを感じにくい体質になっている、我慢してしまう人が多いという説明がありました。

それを踏まえ、屋内外の作業現場では、①水分をこまめに ②塩分をほどよく ③気温と湿度と風通し ④衣類の工夫 ⑤休憩をこまめに ⑥休憩時には作業者の様子を確認 ⑦作業開始時刻調整 ⑧日除け、着帽、冷却グッズを ⑨就業前の体調確認などを実践していきましょう。

また、作業中に「めまい」「立ちくらみ」「頭痛」など体調不良を感じた場合には、即座に作業を中止し、安全でずい場所横になってください。

そして保冷剤などで首筋・わきの下など体を冷やし、水分を補給します。一緒に仕事をしている仲間の状態についても目を配るようお願いします。

なお、1分間の心拍数が、180から年齢を差し引いた値より大きい場合には、熱中症の危険信号です。

今回、安全管理委員会から会員の皆さんに配布した安全グッズ「ひんやり 冷え！冷え！タオル」は熱中症予防には大変効果があるとのことお墨付きをいただきました。有効活用をお願いいたします。



受講中の会員の皆さん

安全就業パトロール報告

植木剪定及び伐採作業

日時：令和4年5月12日（木） 9：00～10：30 植木班グループ 関田正男サブリーダー以下3名

巡回先：東大和市清水4 民間住宅

巡回メンバー：【安全就業パトロール A グループ】福田安全管理副委員長、尾又一夫委員、横川たまえ委員、及び事務局関田主事 合計4名

評価事項

基本指摘内容 安全パトロールチェック表より 指摘内容1～10迄(別紙添付)内容について	○	植木サブリーダーに聞き取りの結果、 全員が実施されていることを確認した。
観察項目指摘内容 ・作業中走ったりしているか？ ・3S（整理整頓清掃）されているか？ ・（声かけ）共同作業時合図応答しているか？ ・（安全対策）歩行者、通行車両への配慮をされているか？	○ ○ ○ ○	各委員の観察による評価である。 全般、整理整頓されていた。 車の近くにはパイロンを置くなど配慮されていた。
作業内容で良かったこと ・作業後の清掃手順がよく準備されていた。 ・駐車場があり自動車も整理されていた。		作業内容で悪かったこと ・発注者との事前打合せがしっかりできているのか疑問。現場において、伐採部分、剪定部分が不明確だった為、発注者から、作業中に質問がかなり出た。 ・敷地内、脚立の天板に登り、剪定及びそのまま木に移り作業していた。作業に合った脚立を使用するのが適正と思われる。

検討結果（安全管理委員会からの改善点及び指摘事項について）

- ・三脚の足は地面と75度の角度まで開き、開き止めチェーンは必ずかけて、たるみがなくピンと伸ばした状態で使用する。
- ・三脚の天板には乗らない。三脚は上から3段目以下の踏みざんに乗り、天板や踏みざんに身体を当てて安定させた状態で作業する。



剪定作業



剪定作業



サブリーダーからの
聞き取り



天板に乗り作業をしている

令和4年度健康診断受診調査結果

健康診断受診調査につきまして集計結果がまとまりましたのでご報告いたします。
提出にご協力いただきありがとうございました。

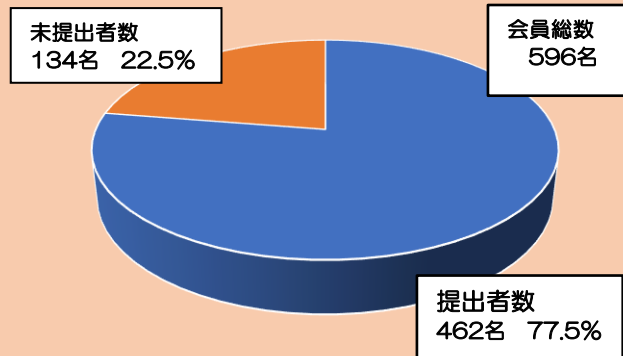
実施内容

- ・令和4年5月末日現在の登録会員に対し健康診断受診調査を実施。
- ・令和3年4月1日から令和4年3月31日の間に受診されたか否かを問いました。

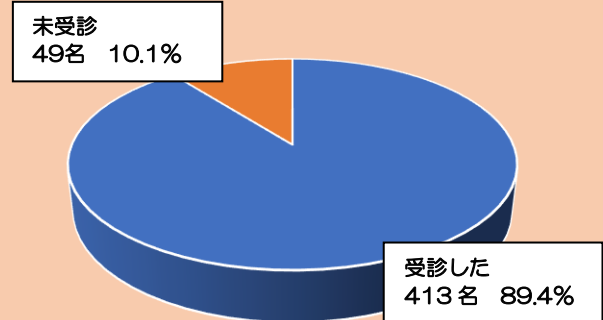
評価

1. 調査結果、提出率が前年度より13%強向上しました。
昨年度までは、9月調査、10月集計で実施しておりましたが、今年度は早期に実施し会員の皆さまに健康診断受診に対して関心を持っていただけるよう、調査時期を早め6月調査、7月集計といたしました。それが良い結果につながったと思われます。
2. 提出者中の就業者の受診率は89%以上の高率を維持しました。
3. 安全就業基準にもあるように、健康検診はすすんで受けなければなりません。
常に健康の維持管理に努めてください。

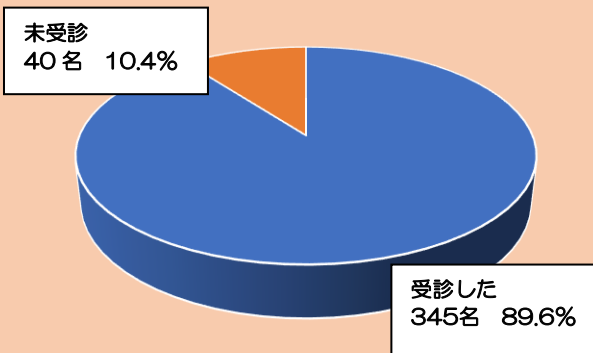
健康診断受診調査提出率



提出者の受診率



就業者（提出者）中の受診率



健康維持のため、気を付けていること

1	食生活	199名	43%
2	生活のリズム	80名	17%
2	睡眠	80名	17%
4	運動	70名	15%
5	趣味	4名	1%
6	その他・記入無し	29名	7%